

関西大学東西学術研究所紀要

総目次(第1輯～第20輯)

- 第1輯 (昭和四十三年三月)**
- 諸陵寮式の成立事情その他……………吉永 登(1)
- 日本書紀の用語よりみた卷々の特色について
二、三の考察……………横田 健一(13)
- 一特に景行四十年条、神武即位前紀戊午年及び天孫降臨段本文条一
- 比較の意味 II……………小川 悟(25)
- 内閣文庫の購来書籍目録……………大庭 脩(33)
- 古事記上巻に見える歌謡と吳音……………高橋 盛孝(1)
- マラヤにおけるザカート制度の現状……………藤本 勝次(25)
- 《Les Nourritures terrestres》以前の André Gide……………重本 利一(45)
- モラルの問題(1)—
- 第2輯 (昭和四十四年三月)**
- 「孝女知恩」と「貧女養母」……………鏑方 貞亮(1)
- そこに記された米・粟・租・穀を繞る諸問題—
- 漢代の節について……………大庭 脩(23)
- 將軍假節の前提—
- 比較の意味……………小川 悟(59)
- 文芸社会学の試論 I—
- Gide 的美学と古典主義……………重本 利一(1)
- モラルの問題(2)—
- フィリピン・ミンドロ島マンギャン族調査報告……………横田 健一(19)
- 日中同文訳語交流の史的研究(1)……………芝田 稔(65)
- 第3輯 (昭和四十五年三月)**
- 大宰帥大伴卿の贈答歌……………吉永 登(1)
- 東北大学狩野文庫架蔵の御文庫目録……………大庭 脩(9)
- 聖堂文庫の賦役府県志目録……………大庭 脩(91)
- 明治初期紡績業と水力的基礎……………末尾 至行(99)
- (その二) 明治政府の立地政策とその一具現例としての遠州二俣紡績会社—
- エズラ・パウンドの 'PAIDEUMA' について……………安川 昱(1)
- A. Gide の作品における image の発展(I)……………重本 利一(11)
- Les Cahiers d' André Walter の場合—
- 第4輯 (昭和四十六年三月)**
- エズラ・パウンドと能楽……………堀 正人(1)
- 「楯立つらしも」の背後にあるもの一追考……………吉永 登(13)
- 擬声語擬態語に由来する中国語語彙……………坂本 一郎(21)
- 豊臣秀吉を日本国王に封ずる詔命について……………大庭 脩(29)
- わが国に現存する明代の詔勅—
- ムラの水車とマチの水車……………末尾 至行(79)
- 明治前期『水車調』による水力開発・利用の実証的研究(4)—
- 飛鳥白鳳芸術精神史研究序説……………横田 健一(99)
- Kafka in Japan……………小川 悟(1)
- aus der Kafka-Bibliographie—
- A. Gide の作品における image の発展(II)……………重本 利一(15)
- Le Voyage d'Urien と Paludes の場合—
- 第5輯 (昭和四十七年三月)**
- 飛鳥時代の金石文……………吉永 登(1)
- 平戸松浦史料博物館蔵「唐船之圖」について……………大庭 脩(13)

- 一江戸時代に来航した
中国商船の資料—
飛鳥白鳳芸術精神史研究序説(Ⅱ)……横田 健一(51)
比較の意味……………小川 悟(71)
一文芸社会学の試論Ⅱ—
エズラ・パウンドの「トラキスの
女達」……………安川 昱(1)
日中同文語彙交流の史的研究(2)……芝田 稔(21)
一蔽復の訳語について—

第6輯 (昭和四十八年三月)

- 「なくに」について……………吉永 登(1)
解釈学的問題としての「同時性」
の問題……………東 専一郎(11)
白鳳天平芸術精神史研究序説(Ⅲ)……横田 健一(41)
一群像形式と憂鬱性の表現を
中心として—
Julien Green の Adrienne
Mesurat について……………前原 昌仁(1)

第7輯 (昭和四十九年三月)

- T. H. ハックスレイの「進化と倫
理」をめぐる—その1—……………堀 正人(1)
藤原不比等伝研究序説……………横田 健一(13)
欧米における日本語教育と日本研
究……………D・E・ミルズ(31)
(ケンブリッジ大学)
新青年における専門用語1……………鳥井 克之(1)
一翻訳された論文作品について—
日中同文語彙交流の史的研究(3)……芝田 稔(21)
一蔽復の訳語について—

第8輯 (昭和五十年十二月)

- T. H. ハックスレイの「進化と倫
理」をめぐる—その2—……………堀 正人(1)
古事記と日本書紀における詔と勅……横田 健一(17)
一類義語の分布よりみた
巻々の特色—
ハイデッガーにおける形而上学の

- 問題と日本の哲学的伝統……………東 専一郎(31)
周作人・小河・新村……………飯塚 朗(45)
エズラ・パウンドにおけるフェノ
ロサ(その一)……………安川 昱(65)

第9輯 (昭和五十二年三月)

- 天武紀・持統紀の文章と用語……………横田 健一(1)
一日本書紀成立研究への一試論—
『新しき村』への道……………飯塚 朗(11)
一周作人の足跡をたどって—
初期大乘経典に於ける縁起説(-)……丹治 昭義(31)
营造法式における左官工事の一考
察……………山田 幸一(49)
資料翻訳 雑誌『新青年』……………鳥井克之訳(56)

第10輯 (昭和五十二年九月)

- 芳洲文庫の「嘉靖公牘集」につい
て……………大庭 脩(1)
江戸時代、日朝外交の一側面……………泉 澄一(23)
雨森芳洲文庫目録稿
……………「日中文化交流の研究」歴史班(45)
最近のイギリスの舞台……………名取 栄史(71)
西南アジアの水車・風車調査覚書(1)
……………末尾 至行(1)

第11輯 (昭和五十四年三月)

- 近世日本海運史に関する若干の
史料とその考察……………横田 健一(1)
『橘總茶話』刊前刊後……………水田 紀久(19)
橋本コレクションの来舶画人関係
資料……………山岡 泰造(43)
第三回エズラ・パウンド会議覚え
書……………安川 昱(79)
第二次漢字簡化方案(草案)につ
いて……………芝田 稔(1)

第12輯 (昭和五十四年十二月)

- 江戸時代の日朝交流(上)……………泉 澄一(1)

- 一釜山窯の御本焼物をめぐって—
漢代磚墓の変遷とその分布について……………山田 幸一(29)
- チャンドラキールティの論理観の
一考察……………丹治 昭義(55)
- The China Trade of the V. O.
C. in the 18th Century ……C. J. A. Jörg (1)
- 西南アジアの水車・風車調査覚書(2)
……………末尾 至行(19)

第13輯 (昭和五十五年三月)

- 『舞踊劇』の登場人物たち……………名取 栄史(1)
- 一イェイツに於ける能—
江戸時代の日朝交流(下)……………泉 澄一(13)
- 一釜山窯の御本焼物をめぐって—
江戸時代における漂着唐船に関する
一・二の資料……………松浦 章(41)
- 一得泰船筆語を中心に—

第14輯 (昭和五十六年三月)

- 正徳・享保期の釜山窯と注文焼物…泉 澄一(1)
- 一宗家史料「御焼物御注文摺」
をめぐって—
- Deutschlandaufenthalt des ja-
panischen Schriftstellers und
Mediziners Mori Ōgai in den
Jahren 1884 bis 1888—Unter
Berücksichtigung medizinges-
chichtlicher Aspekte ……D. F. Schauwecker(1)
- 西南アジアの水車・風車調査覚書(3)
……………末尾 至行(37)

第15輯 (昭和五十七年三月)

- [関西大学東西学術研究所創立三十周年記念講演]
通俗物雑談……………中村 幸彦(1)
- 一近世翻訳小説について—
* * *
- 寛文末～延宝期の釜山窯をめぐっ
て……………泉 澄一(23)

- 一對馬藩・表書札方毎日記を
中心にして—
- 李朝時代における漂着中国船の一
資料……………松浦 章(53)
- 一顯宗八年(一六六七)の明船
漂着と「漂人問答」を中心に—
『諸蕃志』索引……………藤善 眞澄(1)

第16輯 (昭和五十八年一月)

- 中論の構成……………丹治 昭義(1)
- 十八～十九世紀における南西諸島
漂着中国帆船より見た清代航運
業の一側面……………松浦 章(17)
- [特別寄稿]
- Dante's Choice of Provençal
Examples in the *De Vulgari
Eloquentia*……………Peter Makin(1)
- The Illustrations for a Vic-
torian *Aesop* and a Meiji
Isoppu……………G. S. Johnson(51)
- 西南アジアの水車・風車調査覚書(4)
……………末尾 至行(101)

第17輯 (昭和五十九年三月)

- 神秘主義の語義について(1)……………川崎 幸夫(1)
- 「カルヴァリ」のキリスト……………名取 栄史(17)
- 李朝漂着中国帆船の「問情別單」
について(出)……………松浦 章(25)
- オスマン・トルコ時代の水争いに
関する一文書について……………藤本 勝次(1)
- 一その解説覚え書き—
- Zur Choleraepidemie in Japan
(2. Folge)……………D. F. Schauwecker(19)

第18輯 (昭和六十年三月)

- 絵画史から見た日本と中国(序)……………山岡 泰造(1)
- 天和・貞享期の釜山窯と対州窯……………泉 澄一(13)
- 李朝漂着中国帆船の「問情別單」
について(下)……………松浦 章(33)

Why Zen and Christian Monks Live Similar Lives	M. J. Augustine(1)
Land Utilization in the Transi- tional Zone between Central and Northern Anatolia in Bolu District	S. Gözenç(35)
西南アジアの水車・風車調査覚書(5)	末尾 至行(47)

第19輯 (昭和六十一年三月)

清に通報された「島原の乱」の動 静.....	松浦 章(1)
Monks as Role-Models for Ideal Attitudes in Japanese and European Cultural History	M. J. Augustine(1)
The Artists Stretch Their Legs: The “Sketch-Tour” Books and Other Developments in	

Japanese Graphic-Arts of the Early Twentieth Century	G. S. Johnson(21)
日中両国における漢字の異同につ いて.....	芝田 稔(41)
疑問と不定.....	日下 恒夫(57)
—朝鮮語への覚え書き—	

第20輯 (昭和六十二年三月)

『令集解』所引『説文』攷.....	林 紀昭(1)
清代沿海商船の紀州漂着について...	松浦 章(39)
“Absolute Rhythm” と “Great Bass” について.....	安川 昱(1)
—エズラ・パウンドのリズム論— 覚え書(→)	
綿線具の調査研究.....	角山 幸洋(9)
中国における日本古代中世史研究...	張 玉 祥(89)
研究員の研究概要 (昭和61~62年度)	(99)
関西大学東西学術研究所紀要 総目次 (第1輯~第22輯)	(109)